

エクスロン・インターナショナル

X線・CTセミナーに200人

ユーザー層反映した多彩な講演

エクスロン・インター

ナショナルは2月10日、

横浜市中区の横浜市開港

記念会館で「第2回X線

・CTテクニカルセミナー

」を開催、約200人

が受講した。セミナーで

は、同社社員による事業

・技術紹介などに加え、

外部企業からもゲスト講

演者を招き、幅広いテー

マの解説を行った。

同社は昨年、X線・C

Tテクニカルセミナーの

第1回を開催。エクスロ

ングループの幅広い技術

・ユーザー層を反映した

多彩な内容で好評を博し

た。

10日に行った第2回セ

ミナーでは、独・本社か

ら来日した同社プレゼン

ターのデトレフ・シュテ

ック氏が開会挨拶。「当

社は、アプリケーション

サポートを含むX線・C

T製品や同システムに特

化した企業。最良の画像、

グローバルサービスネッ

トワークによるサービス

を提供することで、ユー

ザーから評価を得てい

る」と自社の紹介を行い、

顧客・関係者に日頃から



シュテック氏



X線・CTセミナー

の感謝を示した。

また「本日は、日本で

の事業展開を担うジャパ

ンチームが最新技術を紹

介するとともに、ゲスト

講演者がX線撮影事例を

紹介するなど、興味深い

セッションを設けてい

る。本セミナーを通じ、

当社製品がどのような場

面で貢献できるかのイメ

ージをつかんでほしい」

と語った。

続いて、同社営業統括

部の清宮直樹EJE統括

リーダーが「マイクロー

フォーカスX線装置業界マ

ップとエクスロンのポジ

ション」と題し講演。同

社の代表的な製品ライン

であるミニフォーカスX

線CT、マイクローフォー

カスX線CTを紹介した

ほか、マイクローフォー

ス分野で最も売上の多い

自社製品として、マルチ

フォーカスX線透視・C

T検査装置「Y・Che

etah」の特徴などを

アピールした。

清宮リーダーは「本製

品は、1本の管でマイク

ローフォーカス、ナノフォ

ーカスを切り替えること

ができる。また、厚い鋼

板を透過する高出力モー

ドも搭載する。さらに、

一番のメリットは16ビッ

ト(6万536階調)

で多彩なグレーを表現するフラットパネルディテクタ。従来のものと比べ、ワークとほかの部分の差がはっきりと分かる」と説明した。

そのほか、パナソニッ

クノオートモティブ&

インダストリアルシステ

ムズ社デバイスソリュー

ション事業部の佐々木英

弘氏が、同氏の所属する

同事業部電子制御ソリュ

ーションビジネスユニッ

ト富山・松江工場で製造

するハイブリッド車(H

EV)用コンデンサへの

X線検査適用事例を紹介

介。ワークが大型であることや、内部が金属材料と有機材料で構成されていることなどを考慮した結果、エクスロン・インターナショナルの「Y・Cheetah」を導入

し、製品検査に活用して

いることを説明した。

また、エクスロン・イ

ンターナショナル営業統

括部の柄沢洋光NDT統

括リーダーが「CTデー

タにおけるダイキャスト

製品の測定事例」を紹介

するなど、幅広いテーマ

で全11件の講演を行っ

た。